

リトルハウス通信

NO,174 2019年9月20日発行 発行責任者：梁瀬

住所：〒175-0082 板橋区高島平9-24-4 TEL：03-6361-0596・fax：03-6361-0597

NPO法人アドボケート会：<http://www.advocate.or.jp/little-house.shtml>

**オークション用の品物集めております。
なにかございましたら、リトルハウスまでご連絡下さい。**

二輪草 粉せっけん 販売しています！

(ヤフーオークション出品中・スマイルマーケット高島平駅ナカ店でも販売しています！)

- 使用済み植物油を回収して作るリサイクル商品です余分な添加物は一切含まれていません。
- **洗濯**にお使いください。
- せっけんは油汚れに強く、その洗浄力は換気扇にも使えます。
- 炭酸ソーダはアルカリ性 (PH10) を保つことで、せっけんの**強い洗浄力**を保ちます。
- せっけんを作る際、グリセリンが生じます。グリセリンは皮膚の保湿成分として広く持ち用いられています。このグリセリンを捨てることなくそのまま利用しています。
- 形状は微粉末ですので水に溶けやすい。
- 生分解しやすい。(使用后、2週間で自然界の成分に分解致します。)
- 500ml ペットボトルで100円。(300g)
- 固形タイプ 100円 (パッケージが新しくなりました)そのほかに2L・400円で販売させて頂いています。
- **食器洗い**にも使えます。別容器に分けて水溶液にしておくと便利です。
- **油汚れ・強い汚れに優れている・泡切れが良い。**

注意 強いアルカリ性を持っていますので、身体の清浄には使わないで下さい。



←ボトル(贈り物によいです)

200g 200円です！

詰め替えれば、何度でも使用できます。

アウトリーチ研修からの学び②

「指向する課題」の達成支援…そのプロセスの治療的意義

(復習)「指向する課題」とは？

生活の破綻に結び付く生活上の課題
価値意識を反映した課題…異性、金銭、プライドの範疇に分けられる。あれもこれもではなく、その人ならではの、反応しやすい特異的な課題＝回復と生活再建に結び付く課題

① 治療アドヒバランスが向上

治療者が生活に目を向け、指向性に関心を抱くことにより患者の気持ちを大切にし、生活への理解を深める→患者にとって自らの指向性に焦点が当てられることで、治療に積極的に参加しやすくなる。

② 自尊感情を高める

症状や障害に焦点を当てるのではなく、本人の力を最大限引き出すことと、様々な資源を活用することを中心とした働きかけのプロセスは、本人の長所を重視することにつながり、自尊感情を高める。

③ 主体としての自分を取り戻す

生活のあり方は多様であってよいが、どのような生活のあり方であれ、生活が本人にとって意味あるものになることが重要である。

「指向する課題」の達成支援のプロセスは、こうした意味のある生活を築くことにつながるものであり、生活の主体としての自分を取り戻す過程となる。

④ 行動の自己制御が利くようになる

※「指向する課題」に正面から向き合うこと＝再発のリスクを抱えること・逸脱行動の出現

「指向する課題」に沿った支援のもとでは、自己の行動を客観視する面が見られるようになり、自己制御が利くようになることが少なくない。

⑤ 社会的存在としての自己を保つ

治療者を含めて周囲の人々に指向性が受け入れられること

で信頼感が育まれる。信頼できる人との交流を持てることにより社会的存在としての自己を保つことができるようになる。

社会的適応においては、人との関係性が主要な問題であり、人とのつながりを持てるようになることが重要。
良好な社会適応を得る基本要件＝心がつながり、自己の存在を肯定できるようになること。

(続く)梁瀬 光輔

ネットの動きから



**USED スチール製ロッカー2 セット (専用
の鍵4つき) …4000円**

若干のキズや汚れはありますが、目立つ破損は無く、問題なく使用できます。
専用の鍵が4つほど付属しています。

**USED 本 童心残筆／安岡正篤 (島津書
房 1992年)**

…1000円

旅の記録や学校教育などその時々
の問題、漢詩・和歌・俳句など、折
り折りに書かれた短文を収録。



名刺・はがき・封筒印刷・・・注文おねがいします！

名刺 100枚 1000円 両面印刷は、1300円です。
裏面が、表面印刷の80%相当の文字入力の場合1600円です。

板橋区の職員の皆様…名刺の注文は、ぜひリトルハウス
にお願い致します。高島平地域の方へ、サービス価格30
枚300円から受けています。(ロゴ入りません)
その他各種はがき印刷・デジカメ画像現像などなんでもご相談下さい！

特定非営利活動法人アドボケイト会正会員・賛助会員

○正会員 年一回の総会に出席して頂ける方

(入会金…初回年度のみ:1000円)

年会費:1000円)

賛助会員 アドボケイト会(リトルハウス)の活動に

支援頂ける方

(年会費:1000円)

この場合の1年間はどちらも

4/1~3/31までです。

郵便振替口座番号:00190-4-706343

加入者名:特定非営利活動法人 アドボケイト会

ご支援の程

よろしくおねがいいたします。

編集後記

11月、帯木蓬生(はばきぎほうせい)の小説「閉鎖病棟」が映画化されることになった。原作では九州が舞台だが、今回は長野。この小説は病棟内の患者さんたちの個性豊かでユニークな日常が、現役の精神科医である帯木によって丁寧に描かれ、好感の持てる作品だった。今回、実際の精神科病院でロケを行ったそうである。

小説を映画化すると、良くも悪くも映画そのものが「ひとり歩き」してしまうことがある。それは映像化における宿命ではあるのだが…。

この原作の良さが保たれたまま、映画になっていることを願っている。

呉秀三が観ていたら感想を聞いてみたい
(梁)

今後の予定

11月 一泊旅行

※今年度は新潟・ニューグリーンピア津南(宿泊)を予定しています。

11月から12月にかけてアドボケイト会理事会を予定しています。